

《第6回飯倉駅前地区まちづくり協議会 議事録》

日付	平成28年10月8日(土)	14:00~15:30	雨	書記	浦田
出席者	委員	井上 峰夫(会長)、野澤 善一郎、村井 康裕(代理:飯島 長男) 鈴木 弘、柴田 実(監事代理)			
		加瀬 功一(副会長)、椎名 英夫、平山 瑞子(監事)、松本 理			
	匠瑳市役所	まちづくり戦略室長 林 雅之			
	事務局	江波戸、鈴木(九十九里ホーム) 西方、浦田(ミサワホーム)			
<発言者>	<内容>				
井上会長	<p>・開会挨拶</p> <p>本日で第6回、半年たちました。アンケートもおかげさまで400通の回答を頂きました。またワークショップも横芝光町町民会館にて40名弱のご参加をいただき執り行いました。分科会につきましても10/2に何名かの委員にご参加いただき話をさせていただいた。今日の協議会もよろしくお願い致します。</p>				
事務局	<p>配布資料：第6回飯倉駅前地区まちづくり協議会、CCRC/複合施設について</p> <p>1. 住民アンケートについて(速報)</p> <p>・299通9/24時点(回収率21%、現在400通超)、傾向:50代夫婦2人、要望施設スーパー、飲食店等。 P2</p> <p>2. ワークショップについて(報告)</p> <p>・10月6日いきいきシニア講座内、35名参加、気軽に訪れることができる施設が望まれている。 P3</p> <p>3. 分科会について(報告)</p> <p>・事業計画の検討、コンセプト他世代交流、地域の課題、ここにしかない強み、具体的な対策・施策。 P4</p> <p>移住者のターゲットについて</p> <p>・子育て層、夫婦+子(未就学児)、シニア層、退職後の高齢者(夫婦)、地縁のある人、障がい者と家族。 P5</p> <p>移住先で重視すること</p> <p>・子育て層 生活利便、人間関係・シニア層 日常生活の利便性、仕事・その他 移住についての相談窓口。 P6</p> <p>方針・施策(検討中)・エリアイメージ</p> <p>・保育、交流、生きがい×日常生活の利便設備×現状の医療・介護・福祉。 P7~9</p> <p>意識調査、アンケート(参考)</p> <p>・東京都在住者の今後の移住に関する意識調査、子育て世帯・移住についてのアンケート。 P10~11</p> <p>4. 事例紹介</p> <p>・公民連携(PPP/PFI)事例、「道の駅」事例など。</p> <p>・国内における関連する主な動き、参考とした構想・取組事例(ゆいま〜る那須、シェア金沢など)。 P12~21</p> <p>5. 視察について</p> <p>・別紙一覧より選定、日時・場所について別途お知らせ。</p> <p>6. 次回協議会日程について</p> <p>・11月19日(土)午前10時~</p>				

	・分科会についての意見等
A委員	方向性についてなんとなく見えてきた。ターゲットが大事。ターゲットのニーズを含めて、どんなまちづくりをしていくかが大事。また商業施設が強く要望されているが、駅前ロータリーの隣接地はサービス施設として、多目的に利用できる施設があつていいのでは。
B委員	移住者ターゲットの「子育て層」について、都市部は仕事があるから人が集まるが、施設が無いから待機児童が多い。ここ（匝瑳市）は移住してもらうには仕事がない（という）弱点がある。大抵、主人の勤め先に移住する。「子育て層」の場合は仕事先がうまく見つかるか。非常に難しい事だが、この地区だけでなく市にどんな考え方があるのか。
C委員	自分も移住してきた一人であるが、移住先として考えたことは、保育施設や小学校、買い物先。もう一つは駅近。駅は小さいが千葉や都心まで行ける。買い物も成田など大きな施設へ行く。子供も大きくなると車で動く。聞くと買い物は成田に行く。今住んでいる人には便利なのでスーパーの要望多いが、それでは人は呼べない。生活利便性としていかに駅に近いところに住める環境を作るか。駅前活性化は飯倉台も巻き込んでやっていければと思う。「シニア層」については歩くのも億劫になるので、宅配も良いが近くに食料品などドラッグストア程度のものがあれば良いのでは。こども園と特養の他にはちょっとした買い物ができるもの、特産物も扱う道の駅風の施設がいいのでは。
D委員	ターゲットの「シニア層」について、移住してきて住む場所を考えないといけないし、近辺に住んでいるのは高齢者世帯が多い。将来的に空き家になる可能性もあるので、空家活用も考えてほしい。
A委員	ターゲットは「シニア層」でよいのでは。元気なシニア層に子世帯がついて来てくれれば人口増える。老老介護等、介護が社会問題化しているが、子世帯が勤めるところがない。それを作っていくのは匝瑳市全体としても大変な問題。元気な高齢者が来るのでシルバー人材センターの役割も大きくなってくる。総務経理、管理職関係が働ける場があまりない。部門を作ってくれば生きてくるのでは。元気な高齢者の知識等、活用してまちづくりをしていく。
E委員	匝瑳市は医療従事者と介護従事者が多いという強みがあるのでさらに強めていけばよいのでは。高齢者が来れば介護士、看護師も移住してくるのでは。介護施設が充実し、こども園に子供も預けることができると人が増えるのでは。
F委員	アンケートについて、40%を超えていると聞いてほっとした。施策の中で、「相談窓口」は大切だと思った。移住者はどこに聞いたらいいか分からない。障がい者の働く場はすごく望んでいる。たとえば高齢者が集まれるコーヒーショップで、障がい者が働くなど。ふれあいパークの経緯など参考に聞ければ。
G委員	高齢化社会、人口も少なくなってくる。働く場所が必要。また高齢者施設も大事であり、歩いて利用できるスーパーや遊ぶ場所を考えた事業計画が必要。周囲の意見も大事だが 国等の支援も大事、皆さんの意見を総合して建設することが大事。

H委員	<p>シルバー人材センターには現在270名、さまざまな職種の方が会員登録されている。70歳過ぎても元気な方が多い。</p> <p>今は企業も派遣が多く、なかなか難しい。空きがないように交代制でやるようにしている。</p> <p>やはり就職できるかが問題。空き家の問題は地権者の理解がないと難しい。エリア広げて枠にはまらず進めていきたい。</p>			
B委員	<p>今、セブンイレブンが、高齢者に限らず家族数が少ないので少量のものを販売している。また栄養士が計算した上で宅配までする。企業とタイアップや協力など頭に入れておいてはどうか。</p>			
井上会長	<p>色々なご意見ありましたが、先日のワークショップでもコンビニで売っているものよりもっと少量の包装で良いと意見がでていた。障がい者の分野をどうしていくか必要なことだと思う。また遊びのできる、余裕のある交流スペースがあり、多目的に使える施設があって地域の皆様とも活用できれば良いのでは。その中に何でも相談できる窓口を入れ込んでいくと移住してきた方にも良いのでは。</p> <p>アンケートはできるだけ早くまとめて、次回はその結果を見ながら詰めていきたい。</p>			
事務局	<p>視察について、多種複合した施設か、移住を目的としたCCRC施設を見に行くか、また先方の都合もあるので平日日帰りになると思いますが別紙の中から都合のつく所へ都合のつく方々で視察に行こうと考えています。</p> <p>ご意見ありましたらよろしくお願い致します。日程につきましては別途お知らせいたします。</p>			
井上会長	<p>次回はアンケートの集計及び、ワークショップのまとめを元に進めていく。アンケートの整理が完了したら分科会を行いたい。</p> <p>色々なご意見いただきましてありがとうございます。具体的なイメージが出てきたと思います。</p> <p>アンケートを踏まえたとえでももう少し具体的にやっていき、また視察で実際にやっているところを見て参考にしていきたいと思います。次回もよろしくお願い致します。</p>			
	以上			
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>次回</td> <td>11月19日</td> <td>AM 10:00~</td> </tr> </table>	次回	11月19日	AM 10:00~
次回	11月19日	AM 10:00~		